

2018年度 第1回 5月 難関大本番レベル記述模試

日本史B・採点基準 記述・記号部分

◆共通の原則◆

1. 漢字で書くべき用語（語句）のひらがな表記には得点を与えない。また、ひらがなで書くべき用語（語句）の漢字・カタカナ表記にも得点を与えない。
2. 判読しにくい文字についてはできるかぎり善意に解釈して採点する。
3. 部分点は設けない。
4. 「漢字○字で」と指示した設問に対して『』を加えて字数を一致させた答案を示した場合、『』は漢字ではないなどの理由から不正解とする。
事例) 「漢字5字で」… ○建武年間記 ×『建武記』

- 1 古代の鉄（2点×5=10点）
- 2 中世の日中関係と唐物（2点×10=20点）
- 3 近世の史料（2点×10=20点）
- 4 幕末～大正期の文化（2点×10=20点）
- 5 昭和戦前期の恐慌（2点×10=20点）

*注意事項・許容解など
特になし。

論述部分

◆論述問題・添削記号◆

難関大本番レベル記述模試・日本史Bの採点では、次のような添削記号を用いています。

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1. <□□□□> | 加点要素 |
| 2. □□□□
<u>~~~~~</u> | 表現に難あり |
| 3. □□ [∨] □□ | 文要素の欠落／脱字 |
| 4. □□ [×] □□ | 誤字（略字を含む） |
| 5. □□□□ [×] | 内容に誤りあり |
| 6. 「□□□□」 | 設問要求に答えていない |

◆論述問題・共通の基準◆

- 採点基準においては加点要素を、**3点**のものは太字・アミカケ□□で、**2点**のものは二重線□□で、**1点**のものは下線□□で、それぞれ示している。採点に際しては常に前後の文脈に留意する（◎で示した事項、（ ）内に示した事項に内容が反していないかを確認する。許容する事例や例外的対応などについては※で示してある）。
- 加点要素の要件を一部しか満たしていない箇所については、それぞれの配点未満の得点を与える。（太字・アミカケ□□→**2点**以内、二重線□□→**1点**、下線□□→**0点**）
- 歴史用語**（赤字で表示）についての誤字、当て字、漢字で記すべき語句のひらがな・カタカナ表記は、それが加点要素に直接関係する場合、**1点減点**。同一語句・文字がくりかえし誤っている場合は、それぞれを減点の対象とするのではなく、まとめて**1点減点**とする。加点要素とは直接関係しない箇所に誤字・当て字があった場合、減点しない。
- 欄外に設問記号を記した答案や、句読点のはみだしなど字数がわずかに超過している答案は、本番では無効答案になる可能性もある。しかし、受験生の学力を正確に測定するという観点から、あまりにも明白に指定条件を無視している場合を除き、採点の対象とする。
- 設問によっては加点要素の合計が配点を超えている場合がある。ただし、各問とも配点を満点としてこれを超える得点は与えない。

1 古代の鉄（論述部分）

問6 673年に新天皇が即位するまでの経緯

◆加点要素の合計7点→6点満点◆

◎671年に死去した天皇

- a 天智天皇 …………… 1点以内

◎673年に即位した天皇

- b (前天皇の)子の大友皇子と戦った(前天皇の)弟の大海人皇子が即位した …………… 3点以内

※この項目は「大海人皇子が即位した」という要素が入って加点。この要素のみでは1点

※「大友皇子と戦った大海人皇子が即位した」は2点以内

※「大友皇子と大海人皇子が争った」など、2人名を挙げつつも勝者・天皇に即位した人物が不明確な場合は1点以内

※「(前天皇の)子と戦った(前天皇の)弟が即位した」だけでは非加点

- c 壬申の乱を経て飛鳥浄御原宮で即位した …………… 2点以内

※条件である「新たな天皇が即位」と、「飛鳥浄御原宮への遷都」の前後関係に誤りがあるものは非加点

- d 天武天皇 …………… 1点以内

問7 8世紀後半に鉄製武器が大量に必要な理由

◆加点要素の合計4点→4点満点◆

◎780年に起こった戦乱

- a 伊治皆麻呂の乱／伊治皆麻呂による反乱 …………… 1点以内

- b 多賀城が焼かれた〔攻撃された〕 …………… 1点以内

◎翌年に即位した天皇の政策

- c 桓武天皇が蝦夷の征討をはじめた …………… 2点以内